

電子複写不可

昭和二十二年十一月三十一

独立混成第十五聯隊工兵中隊陣中日誌



防衛研修所圖書館



陸軍

自昭和二十年一月一日
至昭和二十一年一月一日

陣中日誌

33021

獨立混成第十五聯隊二中队

一月二日	一日命 第一三八號
火曜日	獨之混成第五聯隊日々命令
比嘉	馬掛將校
	陸軍中尉 杉浦隆孝
	全少尉 石井英久
	全軍曹 村田幾造
	全全 須佐久次
	頭書通り討隊馬掛同助手ヲ命ズ
	2. 臨時軍馬 各隊ニ配當ス
	各隊ニ高澤大尉ヲ指示ニ依リ受領スベシ
	左記
	乘馬 金天號 北村大尉
	鞍馬 金砲號 北村隊
	全 金部號 全
	二〇九三〇空襲警報發令

(續前頁・左記)

一月二日	一日命 第一二九號
水曜日	獨之混成第五聯隊日々命令
比嘉	明日勅諭奉讀式ニシテ左記ノ通りハ得ベシ
	左記
	(4) 各大隊 各獨立中隊ハ各々駐之地ニ於テ實施スベシ
	三〇四五空襲警報解除
	四村上少尉以下四名獨混ニ工作命第一〇四號ニ基テ揚陸作業ニ任ズル
	厚〇六三〇那覇埠頭ニ出發ス
	五第一隊山内前一三三六高地ニ前年度ニ引續キ聯隊戰鬥指揮
	所構築
	六第二隊三小隊主力ノ領軍書以下三十八名山内ニ前年度ニ引續キ
	自隊洞窟掩蔽部ヲ構築残余ノ兵力廣川伍長以下三十三名
	該掩蔽部ヲ補強シテ免集並ニ運搬

水曜日	一月四日	日命 第一三〇號	獨之混成隊十五聯隊日々命令 一 聯隊本部ハロロ本部署務室前ニ集合 約隊副官、指示ヲ受クベシ 二 單獨ノ軍裝略授佩用トス 三 〇九ニ五空襲警言報發令 全員直ニ處應、對空警言戒並ニ對空措置ヲ實施ス 四 一〇五空襲警言報解除 五 午後ハ前日同様 第一小隊至三名勤勞奉仕員ニ四名聯隊戰斗指揮所構築 六 第一第二小隊ノ領軍曹以下三名ハ内ニ自隊洞窟ノ構築 七 廣川伍長以下三名ハ該掩蔽部補強ノ蒐集 八 勤勞奉仕員四名ハ各作業ノ援助ニ在リシム
-----	------	----------	--

水曜日	一月四日	日命 第一三〇號	獨之混成隊十五聯隊日々命令 一 明日ヨリ三日間、豫定ヲ以テ部隊臨時軍馬ノ裝蹄ヲ實施ス、依テ左ノ通り心得ベシ 二 各隊(除井上隊)蹄鉄工務兵全員 明日ヨリ三日間、毎日ロロ越來國民學校ニ差出シ再掛將校ノ指示ヲ受ケシムベシ 三 裝蹄區分ハ 五百聯隊本部 工兵中隊 四 六百第一第二各大隊 速射砲中隊 五 七百第一大隊 聯隊砲中隊 六 工務兵ハ晝食携行スベシ 七 全員中隊本部前ニ於テロロヨリ勅諭奉讀式 八 一〇五空襲警言報發令 九 一〇二〇空襲警言報解除 十 第一小隊至三名勤勞奉仕員三名(内前二名六高地)聯隊戰斗指揮所構築
-----	------	----------	---

墨

比嘉

一月五日	中隊命令	六、第七、第八小隊主力三名、山内、白隊洞窟構築、残余三名、 ハ、該洞窟、補修、蒐集、勤務奉仕員三名、各作業、援助 之、前地精査、基、別、前地對戰車、施設、設置、計畫、ヲ、作、製、ス。
金曜日	月日	週番士官
墨	至一月十日	井上少尉
比嘉	頭書、通り、服務、ス、ベシ。	安川伍長
	二、第一小隊、四、八、名、勤務、奉仕、員、四、名、前日、引續、キ、戰斗、指揮、所、構築、	
	三、第二、第三小隊、主力、三名、山内、白隊、洞窟、構築、三、六、名、ヲ、以、テ、該、洞、窟、	
	、補修、ヲ、免、集、勤務、奉仕、員、三、五、名、ハ、各、作業、ノ、援助、	
	四、午後、休、業、ス。	
	五、巽端、一、等、兵、路、鉄、工、務、兵、ト、テ、越、來、國、民、学、校、ニ、到、リ、一、七、〇、歸、隊、ス。	

國軍

一月六日	第一小隊、甲、名、勤務、奉仕、員、四、名、山内、前、一、三、六、高、地、聯、隊、戰、斗、指、揮、所、
土曜日	構築、荷、馬、力、輛、來、隊、運、上、及、補、修、ヲ、運、搬、ニ、任、ス。
墨	二、第二、第三小隊、三名、山内、白隊、洞窟、構築、三、六、名、ヲ、以、テ、該、洞、窟、
比嘉	窟、補修、ヲ、免、集、勤務、奉仕、員、五、八、名、各、作業、ノ、援助、
	、荷、馬、車、二、輛、補、修、ヲ、運、搬、ニ、任、シ、ム。
	三、村、上、少、尉、以、下、四、名、那、霸、埠、頭、ニ、出、張、中、之、處、資、材、監、視、ト、シ、テ、
	恒、川、伍、長、二、名、ヲ、殘、置、シ、一、五、〇、歸、隊、ス。
	四、巽端、一、等、兵、前日、同、ノ、路、鉄、工、務、兵、ト、テ、越、來、國、民、学、校、ニ、到、リ、
	一、七、〇、歸、隊、ス。
一月七日	一日、命、第一、三、二、號、
日曜日	獨、立、混、成、隊、第、五、聯、隊、日、々、命、令、
墨	、明、八、日、大、詔、奉、戴、日、ニ、シ、テ、詔、書、奉、讀、式、ヲ、實、施、ス。
比嘉	依、テ、左、記、ノ、如、ク、心、得、ベシ。

左

記

(1) 各大隊及各獨立中隊ハ各々其ノ駐屯地ニ於テ實施スベシ
 (2) 聯隊本部ハ凡ソ本部事務室前ニ集合シ部隊副官ノ指示ヲ受ケベシ

單獨ノ軍裝略後佩用トス

二第ニ小隊四一名及勤務奉仕員五十八名ノ内前ニ聯隊戰鬥指揮所
 構築 荷馬車六輛ハ運上及補強隊ノ運搬

三第ニ小隊四名 第三小隊三名及勤務奉仕員三十五名ノ内ニ自隊
 洞窟掩蔽部ノ構築

四度端ニ第ニ小隊三名及勤務奉仕員二十五名ノ内ニ自隊
 歸隊ス

一月八日 一全員ヨリヨリ中隊本部前ニ於テ詔書奉讀式
 月曜日 二第ニ小隊四名及勤務奉仕員五十五名ノ内前ニ戰鬥指揮所構築ス

雨 晴

並ニ補強隊ノ蒐集

比 嘉 三第ニ小隊四名 第三小隊三名及勤務奉仕員三十五名ノ内ニ自隊
 洞窟掩蔽部ノ構築

第一三號 五二六ヨリ中隊本部前ニ於テ赤痢藥 回豫防持種實施ス

史々省略

一月九日

一〇九〇五 警告戒嚴報發令

火曜日 二〇九一〇 空襲警告報發令
 三二〇四五 空襲警告報解除

比 嘉 四第ニ小隊四名 勤務奉仕員九十五名ノ内ニ戰鬥指揮所構築
 荷馬車七輛ハ運上及補強隊ノ運搬

五第ニ小隊四名 第三小隊三名及勤務奉仕員四十五名ノ内ニ自隊
 洞窟掩蔽部ノ構築ス

木曜日	一月十日	一 工中作命 第一號 二 兵中隊命令	比 嘉	六石川准尉 築城材料輸送連絡、爲度久地ニモ張ス 七 連日 砲ノ高々度偵察ヲ受テアリ 又 艦上攻撃手機、來襲 本月三日、四日ニ受ケタルモ敵ノ攻 メタル 成果大ナラス 中隊長ヲ核ハトシ全員敵必滅ノ氣ニ炎ニ陣地構築ニ 邁進シツマアリ
	一月十日	一 第一小隊 五名 勤務奉仕員之ニ名シ内ニ 戦斗指揮所 構築 二 河馬車 九輛ハ運上及補修材ノ運搬	水曜日	
	一月十日	一 第一小隊長ハ主力ヲ以テ二月上旬迄ニ一〇三高地ニ別紙計畫ニ ニ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ ニ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ	曇時小雨	
	一月十日	一 中隊ハ一部ヲ以テ前地對戰車 訓練設置ニ基キ上地北方一〇三 ニ 第三小隊長ハ主力ヲ以テ二月上旬迄ニ一〇三高地ニ別紙計畫ニ ニ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ	曇時小雨	
	一月十日	一 中隊長 北村大尉	比 嘉	

木曜日	一月十日	一 中隊長 北村大尉	比 嘉	六石川准尉 築城材料輸送連絡、爲度久地ニモ張ス 七 連日 砲ノ高々度偵察ヲ受テアリ 又 艦上攻撃手機、來襲 本月三日、四日ニ受ケタルモ敵ノ攻 メタル 成果大ナラス 中隊長ヲ核ハトシ全員敵必滅ノ氣ニ炎ニ陣地構築ニ 邁進シツマアリ
	一月十日	一 第一小隊 五名 勤務奉仕員之ニ名シ内ニ 戦斗指揮所 構築 二 河馬車 九輛ハ運上及補修材ノ運搬	水曜日	
	一月十日	一 第一小隊長ハ主力ヲ以テ二月上旬迄ニ一〇三高地ニ別紙計畫ニ ニ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ ニ 第三小隊長ニ 戦車據点構築、爲 砲分隊長ハ	曇時小雨	
	一月十日	一 中隊長 北村大尉	曇時小雨	
	一月十日	一 中隊長 北村大尉	比 嘉	

一月十日	獨混五作命 第二號	南地區隊長 美田大佐
金曜日	南地區隊命令	第一二三四號
比嘉	一 地區隊ハ署ニ取布セル對戰車肉迫攻撃ヲ查閱實施計畫ニ基キ對戰車肉迫查閱ヲ實施シ以テ教育訓練ニ劃期	
	二 補佐道ニ付テ	
	三 第一小隊四名勤務奉仕員ニ九名山内ニ戰鬥指揮所構築	
	四 荷馬車七輛運土作業ニ任ズ	
	五 分隊長以上ハ八ヨリ中隊長 宿舍ニ於テ 本日ノ隊長會同時ノ訓示並ニ要望事項ノ概要ヲ傳達ス	
	六 掩蔽部ノ構築	
	七 第一小隊四名勤務奉仕員ニ六名山内ニ自隊洞窟	
	八 全體協力シテ勝道ニ邁進セン	

(附録・官報)

狂混五作命	第四號	的向上ヲ期セントス	南地區隊長 美田大佐
		下達法印刷交付	
		一 旅團ハ對空機銃ニ関スル普及教育ヲ實施ス	
		二 地區隊ハ所要ノ人員ヲ普及教育補助官ニ專習員トシテ參加セシメ以テ地區隊戰力ノ補充實ニ資セントス	
		三 西村少佐及野崎大尉ハ補助官トシテ前項教育ニ任ズベシ	
		四 岡澤大尉及大隊副官 各中隊長ハ前項教育專習員ヲ命ズ	
		五 細部ニ関シテ岡澤大尉ヲ指示セシム	
		六 予ハ見學者トシテ前項教育ニ參加ス	
		南地區隊長 美田大佐	
		下達法 電話ヲ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付	

陸軍

三 獨混五作命 第五號

南地區隊命令

島一三一三

一 地區隊ハ山部隊ト協定ニ基キ現在山部隊ニ於テ宇久田附近ニ集積セル陣地構築用杭木ヲ速ニ各隊擔任地區ニ招致セ

ントス

二 村上少尉ハ明廿九日〇九〇〇宇久田國民學校ニ到リ山部隊服

ヲ勝隊ニ勝隊中村及米本中尉ト連絡シ前項資材ノ列送ニ

爾後ノ輸送ニ関シ區處スベシ

三 河馬車ニロヲ配屬ス

四 各隊長ハ前項資材輸送率領者トシテ村上少尉ノ要求ニ應ジ

所要兵力ヲ差セスベシ

五 細部ニ関シハ村上少尉ヨリテ連絡セシム

南地區隊長

美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

四 獨混五作命 第六號

南地區隊命令

島一三一四

一 軍ハ一月十五日ヨリ五日間ノ予定ヲ以テ兵器移動修理班ヲ地區隊ニ派遣ス

二 地區隊ハ速ニ兵器(銃器)ヲ加修シ整備ノ完壁ヲ期セントス

三 各隊ハ兵器検査ノ結果ニ基キ要修理兵器ヲ取纏ノ十四日ニ製造

ニ兵器委員ニ差セスベシ

四 兵器委員ハ島袋附近ニ修理所ヲ選定シ修理班ノ作業ヲ援

助スベシ

五 修理班ノ宿營給與ハ部隊本部ニ於テ担任スベシ

六 細部ニ関シハ兵器委員ヨリテ指示セシム

南地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

五 日命 第一三五號

獨之混成第十五聯隊日々命令 一月十二日			
！ 二兵中隊		陸軍一等兵 緑川信義	
同		桑名藤一	
右昭和十五年陸普第百號ニ依リ近衛歩兵第一聯隊ニ轉屬ヲ命ズ(昭和十九年十二月三日附)			
六 會 報			
1. 將校以下全員左記ノ通り赤痢予防接種ヲ實施ス			
(イ)	一月十二日	赤痢第一回	北村隊
(ロ)	一月十八日	赤痢第二回	北村隊
(ハ)	場所	何レモ各隊事務室前	開始一六〇
七 中隊命令			
自一月十二日	週番士官	週番下士官	
至一月二十日	村上少尉	石見 伍長	
頭書ノ通り服務スベシ			

一月十二日	一 第一小隊四名 勤勞奉仕員六四名 内ニ戰鬥指揮所構築
土曜日	二 第二小隊三名 第三小隊一名 勤勞奉仕員三名 内ニ自隊洞窟掩蔽部構築
星	三 第三小隊主力 坂口伍長以下二三名 對戰車據点陣地構築、爲諸見里ニ分セズ
比 嘉	四 村上少尉以下四名 口セリ宇久田國民學校ニ到リ、部隊ヲ築城
獨逸五島	資材ノ引継ギニ任ジ、一七〇 歸隊ス
第三六號	四 眞貝伍長以下一〇名 嘉手納埠頭ニ到リ、中隊築城、兵舎、炊、揚陸作業ニ任ズ
省略	

軍

一月十四日	獨混五作命 第ニ號	一 飯野兵長以下二名 渡久地ニ残置セシ資材ヲ船舶ニテ追送シ 一〇〇〇中隊長ノ指揮ニ入ル
日曜日	南地區隊命令	一 地區隊ハ本部町渡久地附近ニアリテ材料諸種ヲ糧秣ノ前送 ニ任ジアリシ部隊ノ追及ニ伴ヒ新ニ一部ノ兵力ヲ渡久地ニ派遣シ 制表ヲ作業ヲ續行セントス
曇雨	獨混五作命 第ニ號	二 工兵隊長ハ下士官以下十五曲ヲ渡久地ニ派遣シ現製表ヲ實施 中ノ作業隊ノ継承セシメ製表作業ヲ續行セシムベシ
比嘉	獨混五作命 第ニ號	三 兵器委員ハ前項人員及糧秣ノ輸送ニ任ズベシ
省略	獨混五作命 第ニ號	四 經理委員ハ製表作業隊ノ爲約一ヶ月分ノ糧秣ヲ交付スベシ 五 服務ノ細節ニ関シハ藤本中尉ヨリ現場ニ於テ指示セシム 南地區隊長 美田大佐

(南地區隊)

一月十四日	獨混五作命 第ニ號	一 飯野兵長以下二名 渡久地ニ残置セシ資材ヲ船舶ニテ追送シ 一〇〇〇中隊長ノ指揮ニ入ル
日曜日	南地區隊命令	一 地區隊ハ本部町渡久地附近ニアリテ材料諸種ヲ糧秣ノ前送 ニ任ジアリシ部隊ノ追及ニ伴ヒ新ニ一部ノ兵力ヲ渡久地ニ派遣シ 制表ヲ作業ヲ續行セントス
曇雨	獨混五作命 第ニ號	二 工兵隊長ハ下士官以下十五曲ヲ渡久地ニ派遣シ現製表ヲ實施 中ノ作業隊ノ継承セシメ製表作業ヲ續行セシムベシ
比嘉	獨混五作命 第ニ號	三 兵器委員ハ前項人員及糧秣ノ輸送ニ任ズベシ
省略	獨混五作命 第ニ號	四 經理委員ハ製表作業隊ノ爲約一ヶ月分ノ糧秣ヲ交付スベシ 五 服務ノ細節ニ関シハ藤本中尉ヨリ現場ニ於テ指示セシム 南地區隊長 美田大佐

獨混五作命 第ニ號

下達法 電話ヲ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

獨混五作命 第ニ號

獨混五作命 第ニ號

一 聯隊ハ一部ノ彈藥ヲ旅團ニ送納セントス

二 各隊ハ遺棄ニ示セル彈藥整備要領ニ基キ自隊ニ於テ保有スベキ彈藥ヲ整理シ過剩トナル彈藥ヲ兵器委員ニ交付スベシ

三 兵器委員ハ準備地域ニ於テ過剩彈藥ハ現場ニ於テ渡久地ニ集積セル彈藥ハ渡久地ニ於テ夫々旅團兵器係ニ交付スベシ

獨混五作命 第ニ號

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

獨混五作命 第ニ號

南地區隊命令

一 地區隊ハ桑江ニ前送セル陣地構築ニ機息ヲ施用資材ヲ速ニ各隊擔任陣地内ニ招致セントス

獨混五作命 第ニ號

南地區隊命令

一 地區隊ハ桑江ニ前送セル陣地構築ニ機息ヲ施用資材ヲ速ニ各隊擔任陣地内ニ招致セントス

2. 石川准尉ハ左記人員ヲ指揮シ前項資材ノ前送ニ任スベシ 荷馬車ニロヲ配屬ス 3. 各隊長ハ前項資材前送率領者トシテ左記人員ヲ各自ハ 桑江驛ニ差セシ石川准尉ノ指揮下ニ服務セシムベシ 左記									
十五日	聯隊砲	工兵	兵三						
	通信	兵	兵四						
十六日	聯隊砲	工兵	兵三						
	速射砲	兵	兵五						
	通信	兵	兵五						
	下士官	兵	兵二						
十七日	第一大隊	工兵	兵一						
	兵	兵	兵一						

(附録・支隊)

南地區隊長 美田大佐

下達法要旨ヲ傳ヘ後印刷交付 四 工中作命令第二號 工兵中隊命令 比一四一三 表									
1. 地區隊長ハ新ニ一部ノ兵力ヲ渡久地ニ派遣シ製材作業ヲ續行ス 2. 中隊ハ取敢在本郡町渡久地ニテリテ諸資材ノ運送ニ任シア リシ兵力ヲ以テ製材作業ヲ繼承セシメントス 3. 小澤伍長ハ兵十三ヲ指揮シ現製材實施中ノ任務ヲ繼承ス シ製材作業ヲ續行スベシ 欠員ハ進テ補充ス 4. 服務ノ細部ニ関シテハ藤本中尉ヨシテ現場ニ於テ指示セラル、答 中隊長 北村大尉 下達法 電話ヲ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付 五 工中作命令 第三號 工兵中隊命令 比一四一三 表									

	1 地區隊ハ、桑江ニ前送セル陣地構築並ニ棲息施設用資材ヲ速ニ各隊擔任陣地内ニ招致ス
	2 中隊ハ一部ノ兵力ヲ差セシ建ニ築城及棲息施設用資材ヲ速ニ陣地ニ招致セントス
	3 石川准尉ハ、獨混ニ作命第九號ニ其キ前項資材ノ前送ニ任ズ
	4 各小隊ハ左記人員ヲ毎日ロセロロ指揮班宿舍前ニ差セシ
	石川准尉ノ指揮ヲ受テシムベシ
	各人晝食携行ノコト
	左記
十五日	第一小隊 第二小隊
	兵二 兵二
十六日	兵二 兵三
十七日	兵五 兵五

	下達法 關係者ヲ集メ口達ス
	六 第一小隊四五名勤勞奉仕員七〇名山内ニ戰鬥指揮所構築
	七 第二小隊二三名第三小隊一〇名及勤勞奉仕員二九名山内ニ自隊
	石籠掩蔽部構築
	八 午後一三〇ヨリ中隊事務室前ニ於テ新井准尉ノ防犯講話
	爾后武器被服ノ手入
	九 一六〇ヨリ中隊本部前ニ於テ赤刺第一回豫防接種實施
	十 村上少尉等四名宇久田國民學校ニ到リ山部隊ヨリ資材引継
	ギニ任ジ一七〇 歸隊ス
	十一 石川准尉渡久地ニ連絡絡、爲由張中、處一六〇 歸隊ス
	十二 眞貝伍長以下一〇名嘉手納ニ出張中ノ處一四〇 歸隊ス
一月十日	一中隊長 越來國民學校ニ於テ實施セシタル對空挺戰鬥教育

中隊長 北村大尉

陸軍

月曜日	ニ参加シ八日歸營ス
曇	ニ第一小隊四名 勤務奉仕員五〇名 六ノ内ニ戦斗指揮所構築
比	ニ第一小隊ニ三名 第三小隊八名 勤務奉仕員二八名 六ノ内ニ自隊洞窟掩蔽部ノ構
比	比混音命四村上少尉以下四名 宇久田國民學校ニ到リ 前日引續キ山部隊 第三八號 ヨリノ資材ヲ引継ギニ任ジ一七〇〇歸隊ス
省略	五石川准尉以下六名 桑江驛ニ到リ 資材ノ卸下ニ任ジ一六三〇 歸隊ス
	六 加藤上等兵那霸埠頭ニ資材監視トシテ夜中ノ處ニ資材ヲ 追送シ一六三〇歸隊ス
	七 廣瀬上等兵以下二名 渡久地ニ残置セン 資材ヲ荷馬車ニ依リ 追送シ一六〇〇中隊長ノ指揮下ニ入ル
	八 第三小隊檜上等兵以下八名 諸見里ニ分セ中ノ處ニ一七〇〇歸隊ス

(附録・支隊)

一月十六日	一 第一小隊四名 勤務奉仕員四六名 六ノ内ニ聯隊戦斗指揮所構築
火曜日	二 第二小隊四名 六ノ内ニ自隊洞窟掩蔽部ノ構築 第三小隊ヨリ 大々八名 及勤務奉仕員二名ヲ以テ該洞窟裡ニテ採採作業
曇	三 村上少尉以下四名 宇久田國民學校ニ到リ 山部隊ヨリノ資材ヲ引継ギニ任ジ一七〇〇歸隊ス
比	四 石川准尉以下七名 桑江驛ニ到リ 資材ノ卸下ニ任ジ一六〇〇歸隊ス
	五 大島伍長以下八名 對馬中隊據點陣地構築ヲ爲シ 諸見里ニ分セ
	六 檜上等兵以下九名 製紙作業隊トシテ 渡久地ニ派遣ス
一月十七日	一 十隊命令
水曜日	教官 陸軍少尉 藤本武雄
曇	助教 陸軍軍曹 高橋宣之
比	頭書ノ通り昭和五年度第一年度下士官候補者教育係ヲ命ズ
	二 第一小隊四名 勤務奉仕員三四名 六ノ内ニ戦斗指揮所構築

陸軍

獨混五員	三 第一小隊四名以内 白隊洞窟構築 第二小隊一名 第三小隊三名
第一三九號	該洞窟 神原隊ノ伐採 勤務奉仕員二名ハ各作業ノ援助
省略	四 石川准尉以下一一名 桑江驛ヨリ資材ノ輸送作業ニ任ズ
	五 伊藤上等兵以下二名 宇久田國民學校ニ到リ 築城資材ノ率領ニ任ズ
	六 下士官候補者 高橋松一等兵以下四名 下士官候補者集合教育ノ爲 旅團ニ分遣中ノ處一八〇〇中隊ニ復歸ス
一月十八日	一 第一小隊四名 勤務奉仕員三名以内ニ戰斗指揮所構築
水曜日	二 第二小隊四名以内ニ白隊洞窟ノ構築 第二小隊一名 第三小隊
曇	三名 該洞窟 神原隊ノ伐採 勤務奉仕員二名ハ各作業援助
比嘉	三 伊藤上等兵以下二名 宇久田國民學校ニ到リ 資材ノ率領ニ任ズ
一月十九日	獨混五員 第一小隊

(附録・支隊)

金曜日	南地區隊命令	一八九二
曇	一 軍ニ對戰車築城及爆藥戰斗ニ関ス 普及教育ヲ實施ス	
比嘉	二 北村大尉ハ前項教育專習員トシテ 一月十九日ヨリ 助朝市第一高等女學校ニ出頭ス	
	三 細部ニ関シテハ 岡澤大尉ヨリテ 指示セシム	
	南地區隊長 美田大佐	
	下達法要旨ヲ傳ヘ後印刷交付	
	二 獨混五員 第一一號	
	南地區隊命令	一八九一
	一 輸送船 平運丸(五〇噸)ハ 本月十九日 四時 渡具知埠頭ニ入港ス	
	二 地區隊ノ新要ノ兵力ヲ差出シ 短切場 搭ヲ實施スルト共ニ	
	速ニ各隊陣地内ニ前送シトス	
	三 石井少尉ハ 渡久地ヨリ 追及兵力及左記人員ヲ併テ 指揮シ前	
	項資材ノ揚陸並ニ前送ニ任ズ	

陸軍

各隊長ハ左記人員ヲ差セシメ指揮下ニ服務セシム	
左	記
聯隊本部	村田軍曹 吉岡兵長
I	兵一五
聯隊砲	下士官一 兵四
細部ニ関シテハ岡澤大尉ヨリ指示セシム	
南地區隊長	美田大佐
下達法	要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
三	獨混五作命 第一二號
南地區隊命令	第一九 四〇〇
一	旅團ハ軍ノ國頭支隊ハ糧秣輸送ヲ援助ス
二	地區隊ハ獨混五作命第六號ニ基キ所屬ノ兵力ヲ差セシメ前項作業ヲ援助セントス
各隊長ハ左記人員ヲ二十日〇九ニテ諸見里球七〇七ニ討隊	

(附録・支隊)

經理室前ニ差セシメ至ル間旅團係將校ノ指揮下ニ服務	
ロ	パンパン
左	記
I	下士官一 兵二〇
III	兵二〇
II	兵一〇
細部ニ関シテハ岡澤大尉ヨリ指示セシム	
南地區隊長	美田大佐
下達法	要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
四	日命 第一四〇號
獨混五作命第十五聯隊日々命令	一月十九日
II	兵中隊
右昭和五年陸曹第一〇號ニ據リ近衛歩兵第一〇聯隊ニ轉	
尾ヲ命ス(昭和十九年一月十六日附)	

陸軍

五 中隊命令 第四號
 二兵中隊命令
 一八九二五
 一 地區隊ハ獨混四旅作命第六號ニ基キ所要ノ兵力ヲ差セシ
 糧秣輸送作業ヲ援助ス。
 二 中隊ハ一節ノ兵力ヲ差セシ前項作業ヲ援助セントス。
 三 第一第二小隊ヨリ左記人員ヲ二十日ロ九二口迄ニ諸見里球ヲ
 七二部隊 經理室前ニ差セシニロロニ至ル間 旅團係將校ノ
 指揮ヲ受ケシムベシ
 當日ノ晝食及夕食ハ現品携行トス
 主 記
 第一小隊 兵五
 第二小隊 上等兵一 兵四
 中隊長 北村大尉
 下達法 關係者ヲ集メ口達ス。

六 中隊命令
 自一月二十日 至一月二十七日
 月 日 週 番 士官
 頭書ノ通り取務スベシ
 七 中隊長對戰車築城及爆藥戰鬥教育專習員トシテロセシ
 那霸市ニ出張シ一八〇名ヲ歸營ス
 八 第一小隊並ニ各小隊洞窟掩蔽部ノ構築 各小隊ノ部兵方(ニ名)ヲ
 以テ洞窟補修材ノ代採勤務奉仕員ニ七名各作業ノ援助ニ任ゼシム
 九 第一小隊四名勤務奉仕員ニ三名ハ内ニ戰鬥指揮所構築
 十 川候上等兵以下三名凌久地ニ派遣セシ資材運送ニ任ジ爾後
 諸見里分セシ藤本少尉ノ指揮下ニ入ル
 一月二十日 獨混五作命 第一三號
 土曜日 南地區隊命令
 一八九二四〇

星名晴	1 地區隊ハ獨混四旅作命 第八號ニ基キ作命 第六號ニヨリ
比嘉	輸送援助兵力ヲ更ニ増強セントス。
獨混五旅命	2 各隊長ハ左記人員ヲ一九〇〇迄ニ諸見里球 第七〇七ニ計隊
第四號	經理室前ニ差出シ
省略	二十日ハ〇〇ニ至ル間 旅團見王主計少尉ノ指揮下ニ服務セシム
	ハハシ
	左 記
	I 下一 兵一ニ
	III 兵一ニ
	II 兵中隊 下一 兵六
	細部ニ関シテハ河澤大尉ヨリ指示セシム。
	南地也隊長 美田大佐
	下達法 電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ印刷交付
	二中作命 第五號

	工兵中隊命令	ハ一ニ〇一五〇〇
	1 地區隊ハ獨混四旅作命 第八號ニ基キ作命 第六號ニ依リ輸送援助兵力ヲ更ニ増強ス。	
	2 中隊ハ一節ノ兵力ヲ差出シ前項作業ヲ援助セントス	
	3 第一小隊ヨリ左記人員ヲ一九〇〇迄ニ諸見里球 第七〇七ニ計	
	部隊經理室前ニ差出シ 二十日ハ〇〇ニ至ル間 旅團見王主計	
	少尉ノ指揮ヲ受ケシム	
	左 記	
	第一小隊 兵四	
	第二小隊 下士官一 兵二	
	中隊長 北村大尉	
	下達法 關係者ヲ集メ口達ス。	
	第三小隊 二十六名勤務奉仕員五九名ノ内ニ戰鬥指揮所構築ス。	
	第四小隊 九名ノ内ニ自隊洞窟ノ構築 各小隊ヨリ一節兵力(三名)	

一月二十日	晴	比嘉	<p>ヲ以テ補修隊ノ伐採 勤勞奉仕員ニヨリ各作業援助ニ任シム</p> <p>五聯隊命令ニ基キ第一第二小隊ヨリ各五名ニ選出シ各長トシテ</p> <p>諸見里旅團經理部ニ到リ糧秣ノ積載ニ任ズ</p> <p>廣川伍長以下之各作業援助要員トシテ一九日諸見里ニ到リ</p> <p>二三日歸隊ス</p>
一月二十日	晴	比嘉	<p>一第一小隊四名及勤勞奉仕員四名ノ内ニ聯隊戰鬥指揮所構築</p> <p>二第二小隊四名ノ内ニ自隊洞窟ノ構築 各小隊ヨリ一計兵力</p> <p>(二名)ヲ以テ補修隊ノ伐採 勤勞奉仕員四名ヲ各作業援助ニ任セ</p> <p>シム</p> <p>三二二〇〇 警警戒警報發令</p> <p>四二二二五 空襲警報發令</p> <p>五二二四五 空襲警報解除</p> <p>六一三〇〇ヨリ兵長以上中隊事務室前ニ於テ中隊長ノ幹部教育</p>

(附録・支隊)

一月二十日	晴	比嘉	<p>對戰車戰鬥ニ就キ</p> <p>七午後武器被服ノ手入 休養</p>
一月二十日	晴	比嘉	<p>一 独混五作命 第一五號</p> <p>南地區隊命令</p> <p>二 敵ノ大編隊沖繩本島ニ進攻中ニシテ 六二五沖繩本島全地區</p> <p>空襲警報發令セラル</p> <p>三 地區隊ノ速ニ對空戰備ヲ充整セントス</p> <p>四 各隊ハ直ニ之ヲ戰備ニ移行シ常時情勢即應ノ能ハ勢</p> <p>ニアリテ陣地構築作業ヲ續行スベシ</p> <p>五 余ハ戰鬥指揮所ニ在リ</p> <p>南地區隊長 美田大佐</p> <p>下達法 電話ニ依リ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付</p>

課目

陸軍

二 獨混五作命 第一六號

南地區隊命令

戦斗指揮所

1. 本朝來勢ハ攻撃ヲシ敵機ハ猶近海ニ在ルモノ、情勢ノ推移ハ豫断ヨ許サズ

2. 地區隊ハ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、夜ヲ徹シ明ニ至日天明以降ノ戦斗ヲ準備セトス

3. 各隊ハ本夜對空特ニ對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、情勢ニ即應スル態勢ヲ以テ明ニ至日黎明以降ノ戦斗ヲ準備スベシ

4. 第一大隊ハ嘉手納水釜附近ノ對海上警戒ヲ至嚴ナラシムベシ

5. 第三大隊ハ砂辺附近ノ對海上監視哨ヲ強化スルト共ニ一部ヲ桑江附近ニ派遣シ北谷村沿岸ノ對海上警戒ヲ嚴ナラシムベシ

1. 兩大隊ノ海上監視哨ハ所在地方監視哨ト密接ニ連絡スベシ

6. 二兵隊長ハ本部戦斗指揮所高地ノ兵力ヲ増強シ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシムベシ

7. 各隊ハ明ニ至日黎明以降ノ對空處置ニ遺憾ナラシムベシ

8. 予ハ戦斗指揮所ニ在リ

下達法 電報ヲ依リ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

三 獨混五作命 第一七號

南地區隊命令

戦斗指揮所

1. 本朝町渡久地隊置部隊ハ本早朝來勢ハ丸ニ資敵塔敵機ノ來襲ヲ受ケ損害ヲ受ケタルモノ、情勢

2. 地區隊ハ速ニ一部ノ兵力ヲ渡久地ニ急派シ防護ニ任ゼシメ

3. 御子神大尉ハ速ニ渡久地ニ到リ派遣部隊及在渡久地隊置部隊ヲ指揮シ負傷者ノ救護並ニ資材ノ前送ヲ區處スベシ

本部隊野軍曹ヲ附ス。

4町田軍醫ハ速ニ渡久地ニ到リ第一大隊ヨリモジル衛生下士官
及衛生兵各一ヲ指揮シ傷者ノ救護ニ任ズベシ。

5本派遣部隊ノ辱一九三〇旅團ヨリ自勤兵車一ヲ配属セラル。

6派遣部隊ノ歸還ニ関シテハ別命ス。

7予ハ戦斗指揮所ニ在リ。

南地区隊長 美田大佐

下達法 電話ニテ要旨ヲ傳ヘ後印刷文付

四 エ中隊命令第五號

エ兵中隊命令

1敵ノ大編隊沖繩本島ニ進攻中ニテハ六三五沖繩本島全地區
空襲警戒報發令セラル。

2中隊ハ對空戰備ヲ強化シ依然作業ヲ續行セントス。

3各小隊ハ予メ指示セル處ニヨリ一部ヲ以テ對空監視部隊ヲ極力

或ハ兵器資材運搬班ヲ準備スルト共ニ主力ヲ以テ依然作業ヲ
續行スベシ。

4余ハ中隊洞窟掩蔽部ニ在リ

中隊長 北村大尉

下達法 小隊長ヲ集メ口達ス。

五 エ中隊命令第六號

エ兵中隊命令

1本朝米穀物ニ攻撃ヲセシ敵機ハ尚近海ニ在リモ、然レテ情勢
ノ推移ハ豫斷ヲ許サズ

地區隊ハ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナシメ、夜ヲ徹シ
明ニ書天明以降ノ戦斗ヲ準備スベシ

2中隊ハ一部ヲ以テ地區隊戰斗指揮所ニ於テ對空對海上警戒
ヲ任ズルト共ニ主力ヲ以テ本夜以降ノ對空戰斗ヲ準備セン
トス。

第一第二小隊ヨリ左記人員ヲ差セシ地区隊戦斗指揮所、
對空對海上監視ニ任ゼシムベシ。

左記

監視長 第三隊石見伍長

歩哨掛 第一小隊ヨリ上等兵一名 兵 第二小隊四

各宿舎長ハ本藩著以降ノ燈火ノ使用ヲ嚴ニ注意ス

火光ヲ屋外ニ漏光セシムベカラス又雨後ニ於テハ戦斗ヲ考慮シ

シ各宿舎ニ於テ暇眼セシムベシ

暇眼ノ細計ニ関シテハ新井准尉ヨリテ指示セシム

兵器分隊長ハ分散格納セル兵器彈藥監視ノ爲ニ監視

兵ヲ配置スベシ

中隊長 北村大尉

下達法 宿舎長以上ヲ集メテ專ス

六口六三五空襲不敵言報發令ト共ニ全真直ニ處態ノ對空措置ニ任ズ

石川准尉以下三名對空射撃手部隊トシテ聯隊戦斗指揮
所ニ待機

八小岩井伍長以下七名(第一第二隊各三名)ハ比嘉郡落北才高
地ニ於テ對空監視ニ任ズ

九第一小隊四名第二小隊六名第三隊一名ハ大々舎内監視トシテ
殘留部ヲ落敵言報ニ任ズ

十第一小隊二八名以内ニ聯隊戦斗指揮所 洞窟ノ構築築作業ニ任ズ

十一第二小隊三〇名以内ニ向隊洞窟掩蔽部ノ構築築作業ニ任ズ

十二夜間ハエ中作命第六號ニ基キ大々部處ニ任ズ

十三二五五空襲警報解除

十四此ノ日六四ヨリ一七〇頃迄ニ夕至四機編隊 敵機團トナリ

兵ノ上蓋來襲主トシテ中飛行場 泡瀨港湾施設ヲ銃

爆撃ス

亦情報ニ依リバ考シ九八損害ヲ受ケルモノト如シ

陸軍

一月二十日

火曜日

晴

比嘉

一 獨混五作命 第一八號

南地區隊命令

一 地區隊ハ對戰車、築城及爆藥、戰鬥ニ関スル普及教育ヲ實施シ以テ地區隊教育訓練及戰力ノ劃期的向上ヲ期セントス

二 北村大尉ハ別紙計畫ニ基キ前項普及教育ヲ實施スベシ

南地區隊長 美田大佐

三 細部ニ関シテハ北村大尉ヨリ指示セシム

下達法要旨ヲ傳へ後印刷交付

獨混五作命 第一九號

南地區隊長 美田大佐

一 地區隊ハ列車ニヨリ桑江ニ前送セル陣地構築並ニ棲息施設用資材ヲ速ニ各隊担任陣地内ニ招致セントス

陸軍

二 石川准尉ハ左記人員ヲ指揮シ前項資材ノ卸下並ニ前送ニ任スヘシ

三 工兵隊長ハ兵七ヲ明二四日ハ三〇迄ニ桑江駅ニ差出シ石川准尉ノ指揮下ニ服務セシムヘシ

四 細部ニ関シテハ岡澤大尉ヲシテ指示セシム
南地區隊長 美田大佐

下達法要旨ヲ傳へ後印刷交付

二 日命第一四一號

獨混混成第十五聯隊日々命令 一月二十日
一 本職明ニ付日一泊ノ予定ヲ以テ狀況視察ノ為本部ニ出張ス

二 教官 陸軍少尉 藤本武雄
助教 全 軍曹 高橋宣之

頭書ノ通り工兵中隊下士官候補者教育隊教官助教ヲ命ス

四 工中作命第七號

工兵中隊命令

比ニ三三三ヨリ

1. 地区隊ハ列車ニ依リ桑江ニ前送セル陣地構築用並ニ構息施設用資材ヲ速ニ各隊担任陣地内ニ招致ス
2. 中隊ハ一部兵力ヲ差出シ前項資材ヲ速ニ作業位地ニ招致セシトス

3. 第一第二小隊ヨリ左記人負ヲ明ニ十四日ヨリ迄ニ比嘉西端ニ又路ニ差出シ石川准尉ヲ指揮ヲ受ケシムヘシ

當日ノ昼食携行

左記

第一小隊

兵 三

第二小隊

兵 四

4. 石川准尉ハ獨混一五作命第十九號ニ基キ行動スヘシ

陸軍

中隊長 北村大尉

下達法 各小隊長 石川准尉ヲ集メ口達

五. 第一小隊四三名 勤労奉仕員ニキ右山内ニ聯隊戰鬥指揮所構築 荷馬車四輛ハ補強材ヲ運搬

六. 第二小隊ニ四名 勤労奉仕員ニキ右者 自隊洞窟ノ構築 各小隊ヨリ一部兵力(ニ名)ヲ以テ補強材ヲ伐採 荷馬車四輛ヲ補強材ヲ運搬ニ任セシム

七. 第三小隊 諸見里作業場ニ荷馬車五輛ヲ以テ補強材ヲ運搬

八. 隊政部長以下三名 聯隊本部ニ到リ對空監視員トシテ一八〇〇迄服務ス

九. 八〇九〇〇頃 聯隊本部ヨリ彦山丸積荷作業中 部隊ヨリ若干ノ戦死傷者ヲ出シタルト報アリ

五. 中隊本部製材班長小澤伍長ヨリ戦死傷者ノ

報告アリ	陸軍上等兵 小塚 剛
戦死	陸軍兵 長 飯野 二郎
行方不明	全 上等兵 高橋 常吉
全	全 一等兵 高橋 常吉
全	全 上等兵 谷田 貞市郎
戦傷	全 上等兵 谷田 貞市郎
直ニ聯隊本部ニ報告 善後措置ヲ取ルニ決ス	
一月五日	一 獨混一五作命第二〇號
水曜日	一 張團ハ彦山丸ヲ以テ残置物件ヲ新守備地区ニ輸送ス
比嘉	二 藤本中尉ハ張團残置物件前送シ、夕メ在渡久地残置人莫ク一時松井中尉指揮下ニ服務セシムヘシ
	獨立混成第五聯隊長 美田 大佐

(續前頁・東京)

陸軍	下達法 電話ニ依リ命令ヲ傳ヘ後印刷交付
	二 中隊長對戰車築城及口爆藥戰斗教育教官トシテ
	○ニ○ 越來國民學校ニ到リ一七〇〇名歸營ス
	三 下士官以上村上少尉以下一〇名及下士官候補者高松
	一等兵以下四名越來國民學校ニ於テ實施セラレシ
	對戰車戰斗教育ニ参加一ニ〇〇名歸隊ス
	四 新井准尉以下四五名在本部町作業隊空爆被害状況
	視察主ニ中隊職性者ノ搜索事務處理ヲメロハロ
	本部ニ出張ス
	五 石川准尉以下七名桑江駅ニ到リ資材ノ卸下ニ任ス
	六 第一小隊三八名勸力奉仕員九三名山内ニ聯隊戰斗指揮
	所構築 荷馬車二輛ハ運土及補強材ノ運搬
	七 第二小隊主力ニ三名山内ニ自隊洞窟構築 荷馬車二
	輛ヲ以テ補強材ノ運搬

一月二十五日	一 中隊長前日同様対戦車戦斗教育教官トシテ第三大隊
本曜日	本部ニ到リ一七〇〇帰營ス
暁	二 石川准尉以下七名前日ニ引續キ桑江駅ニ於テ資材卸
比嘉	下ニ任ジ午後荷馬車五輛ニ依リ中隊ニ輸送ス
獨逸五日命	三 第一小隊三九名勤守奉仕員八三名山内ニ聯隊戦斗
第四二號	指揮所構築
省略	四 第二小隊三五名山内ニ自隊洞窟ニ構築午前中荷
	馬車一輛ヲ以テ補強材ノ運搬
	五 各小隊一部兵力十一名ヲ以テ各洞窟補強材ノ伐採

(編修員・東京)

一月二十六日	一 獨混五作命第二二號
金曜日	獨立混成第五聯隊命令
暁	六 聯隊八去月二十一日渡久地港外ニ於テ敵機ノ襲撃ヲ受

陸軍

六 午前中第三小隊ニ荷馬車四輛配當シ補強材ヲ諸見里ニ

前送ス

七 新井准尉以下五名本部町ニ出張中一處ニ三〇〇帰隊ス

八 恒川伍長那霸埠頭ヨリ資材ノ追送ニ任ジ一七〇〇帰

隊ス

九 在本部町渡久地作業隊行方不明者飯野兵長

高橋一等兵一〇三〇屍體收容

何名壯烈ナル戦死ヲ遂ゲアリ中隊行方不明者八全員

屍體ヲ收容終レリ

南渡火葬ヲ實施

一月二十六日

金曜日

暁

獨立混成第五聯隊命令

一、二六、九〇〇

比嘉	ハ海没セシ屍體、海上捜索ヲ実施セントス
獨逸五〇命	ハ工兵隊長ハ將校下士官各一兵ニテ渡久地ニ急派シ九五式折疊舟ニテ一月二十日ヨリ二十九日ニ亘ル間渡久地港外、瀬底島、崎本部、備瀬ニ亘ル海域、海上捜索ニ任ズルハシ
第四三號	之ニ要スル揮發油ハ旅團ヨリ本テ六日交付セラレ、答
省略ス	3. 残留指揮官藤本中尉ハ一部ノ兵力ヲ以テ前項海上捜索ヲ援助スヘシ
	獨立混成第十五聯隊長 美田 大 佐
	下達法 電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
	二獨逸混成五作命第二三號
	獨立混成第十五聯隊命令 一、二六、〇九〇、袋
	ハ聯隊ハ情勢ニ鑑ミ渡久地ニ残置セル彈藥、糧秣、資材等ヲ速急ニ守備地内ニ招致セントス
	ハ各隊ハ築城築営材料ヲ除キ現ニ本部町附近ニ残置セ

(編修員・東野)

	ル資材ヲ荷馬車ニ依リ成ル可ク速ニ守備地ニ招致スヘシ
	3. 藤本中尉ハ渡久地に残留セル人員ヲ以テ残置物件ヲ成ル可ク速ニ前送スル如ク区處スヘシ
	4. 築城築営材料ハ一時現位置ニ整備集積シ在渡久地部隊ニ保管ヲ依頼シ時機ヲ見テ守備地ニ招致ス
	5. 在渡久地残留部隊ハ荷物ト共ニ原所屬ニ復帰スヘシ
	6. 製材班ハ渡久地ニ在リテ別命ナル迄前任務ヲ續行スヘシ
	7. 予ハ島袋ニ在リ
	獨立混成第十五聯隊長 美田 大 佐
	下達法 電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
	三獨逸五作命第二三號
	獨立混成第十五聯隊命令 一、二六、〇九三、袋
	ハ軍ハ木造船ヲ造船ニ輸送ヲ強化ス

陸 軍